

評価シート（年度評価）

名古屋市青少年文化センターの管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	名古屋市文化振興事業団・日本管財グループ		
主な業務内容	名古屋市青少年文化センターの管理		
評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和7年4月～令和12年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	○	利用者の要望を受け、ビデオルームの椅子の更新、防音工事を行った。
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	◎	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等	
青少年が文化芸術に親しみ、発表・交流・創造活動に取り組む機会の充実に努め、青少年文化施設としての役割を果たしている。特に、舞台裏体験や高校演劇部向け舞台技術講座など、体験型・実践型事業を通じて次代の担い手育成につながる取組が実施されている。 施設面では、ビデオルームの利用率向上を図るため、防音工事や椅子の更新など利用環境の改善に取り組み、利用者サービスの向上につなげている。 今後は、平日利用率の向上や練習室等の利用促進を通じて、新規利用者の定着や施設機能の周知を進め、青少年の創造活動拠点としての役割を一層高めていくことが期待される。	

施設の現状

青少年文化センター

施設の現状	施設概要							
	芸術文化の創造及び芸術文化活動の交流の場を市民に提供することにより、青少年の芸術文化の振興に寄与するため設置された施設です。具体的には、ホールや練習室等施設の貸出や、青少年交流のためのオープンスペースの運営等を行っています。また、鑑賞機会や活動の場を提供する主催事業を実施しています。							
	市の収支状況(千円)（7年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	172,205	83,547	255,752	18	118,106	137,628	255,752	64,477
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	利用率(ホール)		%	84.7	—	91.9	86.3	
	収支率		%	98.2	69.7	86.6	58.1	
	特記事項							
	令和5年4月1日～令和6年8月31日まで工事休館(ホール・リハーサル室・研修室)							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載